令和３年度　小浜市今富小学校　スクールプラン

小浜市学校教育方針
郷土を愛し、よりよい小浜と日本の未来を創造しようとする児童生徒の育成をめざす

小浜市学校教育目標
1 ふるさとを愛する心、互いに認め合う心を育む
2 よりよい人生を生き、より良い社会を創っていくために必要な資質・能力を育む
3 健康・安全で活力のある生活習慣を育む
4 食に関わる学びを深め、望ましい食習慣を育む
5 すべての児童生徒と教職員が、生き生きと学び、働くことのできる学校づくりを進める

学校教育目標
すすんでかかわり　生き生きとりくむ今富っ子の育成

＜育てたい資質・能力＞
自ら課題を発見し、自ら課題解決に向かう力

理想とする中学生像
ふるさとを愛し・誇りに思い、役にたちたい思う中学生
仲間を大切にし、協同する中学生
自分事として課題を捉え、挑戦する中学生

めざす子ども像
思いやりのある子
思いや考えを伝えられる子
健康でたくましい子

子どもが主体的にとりくむ授業づくり　　子どもがモデルとなる学校づくり

【重点目標】

心
思いやりのある子　～当たり前のことを当たり前に～
①集団生活のルールやマナーの定着
②他者を思いやり認め合う心の醸成
③ふるさとを愛するこころの涵養

頭
思いや考えを伝えられる子　～学ぶ意欲・考える力～
①主体的学習態度（コミュニケーション力）を育む授業づくり
②家庭での学習習慣の形成と読書活動の充実

体
健康でたくましい子　～自分のいのちは自分で守る～
①健康な生活習慣の定着
②運動習慣の定着
③安全意識の向上（交通、災害、不審者、情報モラル）

【研究テーマ】
自ら学び　豊かに伝え合う子どもの育成

【具体的な取組】

①集団生活のルールやマナーの定着
＊あいさつ・返事・言葉遣い＊無言清掃の徹底

②他者を思いやり認め合うこころの醸成(人権・いじめ・不登校)
＊すべての子にとっていごこちのよい学級作り
→児童が関わり合う機会の充実（学級・学年・異学年で）
→自分たちで解決する力の育成（課題解決の視点で）
＊日々の生活と関連づけた道徳授業
＊様々な人との出会いを生かした学習
（人権集会、拉致問題学習、幼児や地域の方とのふれあい）

③ふるさとを愛するこころの涵養
＊地域に根ざしたふるさと学習の推進
（様々な体験、五感を通した学び、学びの発信）

①登下校時、自分から進んであいさつをする【８０％】
②いごこちのよい学級だと感じる【８０％】
③ふるさと小浜（今富）の良さが分かる【９０％】

①主体的学習態度(コミュニケーション力)を育む授業づくり
＊３Ｓ黒板の活用（授業はじめのルーティーン化）
＊対話（焦点化）を生み出す教師のコーディネートカの向上
～期待される振り返りを設定して～
＊ＩＣＴを効果的に活用した授業

②家庭での学習習慣の形成と読書活動の充実
＊家庭学習の手引きに基づく指導
＊めあてを持った自主学習ノートの活用
＊各学年の必読図書 10 冊の選定と読破に向けた指導の工夫

①考えを伝え合うことで学習内容が分かる【９０％】
②毎日家庭学習に取り組む【８０％】

①健康な生活習慣の定着
＊ノーメディアウィークの実施
（いきいきチャレンジファイルの活用）
＊日々の感染症予防対策の推進
＊食に関する授業の充実
（箸の持ち方、魚の食べ方指導等）

②運動習慣の定着
＊業間体育の充実（目標設定、評価の工夫）
＊一輪車強化月間の取組

③安全意識の向上
＊交通安全教室と避難訓練の実施
＊情報モラル教育の推進

①基本的生活習慣を意識して生活する【８０％】
②体力づくりに積極的に取り組む【８０％】
③情報機器を正しく使って生活する【７０％】

○働き方改革への取組
※３チームでの取組を充実させるため時間と場所を設定する。
※職員会議等のタイムマネジメントを徹底し、１時間以内に終える。終礼は週１回とする。
※週１回（水曜日）にノー残業ディを設定し、勤務時間外在校時間を月 75 時間以内にする。

○家庭・地域との連携
※学校だよりの定期的な発行と区長会に協力を依頼し地区全戸への回覧を行ない、全地区民との協力関係の構築に努める。
※ＨＰの毎日の更新や学校公開等で、学校のファンを増やす。